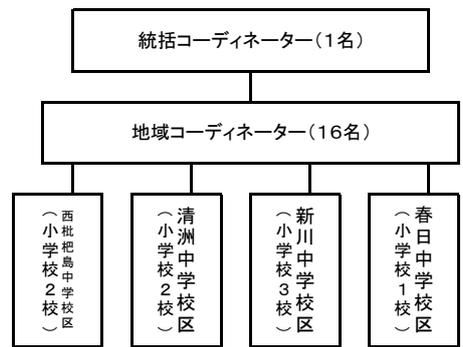


ひろげようボランティアの「わ」 ～ 子どもと地域をつなぐ絆をつくる学校支援地域本部 ～

愛知県清須市		● 活動名 清須市学校支援地域本部			● 関係する学校名 清須市立小・中学校		
開始年度	平成 20 年度	学級数	19 学級	児童・生徒数	500 人		
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()						
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 16 人	連携団体・企業等	地区町内会・寿会・清須市立図書館・社会福祉協議会等		
ボランティアの数	登録人数 35 人	属性	地域住民の中で、学校支援ボランティアとして、ボランティア保険加入者のみ（年に複数回活動している者）				
参考 URL							
● 連絡先 教育委員会教育部生涯学習課				☎ 052-400-2911			
● 活動の概要・経緯	<p>平成 20 年度に国の委託事業として西枇杷島地区 3 校で始まり、平成 27 年度には市内小・中学校 12 校すべてにおいて学校支援が展開できるようになった。環境整備支援、見守り支援、読書活動推進支援、保育実習や家庭科の実習支援など、地域・学校の特色や実情に合わせて活動をしている。現在、地域コーディネーター 17 名(統括コーディネーター 1 名)を配置することにより、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整えることを大きな目的としている。</p>						

● 体制図



● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

清須市学校支援では、当初から読書活動推進を柱として活動を展開してきた。平成 24 年 7 月の市立図書館開館に伴い、市立図書館と協働で行われる「読書ボランティア養成講座」「図書修繕ボランティア養成講座」は、国や県からの視察を受けるなど、先進地事例として高い評価を受けている。継続的な養成講座の取り組みにより、基本的な知識・技術等を活かし、各学校で P T A やボランティアが定期的に図書室の本の修繕を行えるようになった。また、市立図書館の蔵書を事前学習の資料として有効に活用する等、生徒の学校行事に対する意欲向上や読書活動の推進が一層図られている。また、平成 27 年度シニア地域デビューモデル事業にて作成された大型紙芝居は、未曾有の被害をもたらした平成 12 年東海豪雨を後世に伝える為に、地域住民と児童・生徒が中心となり作成した。防災の意識も高まり、地域の防災力が上がっていくことも期待できる。

【実施にあたっての工夫】

学校行事の運営支援は、ある程度の専門性が必要なものから、特段の資格や経験等がなくてもできるものまで幅広い。ボランティア一人ひとりが学校の仕組みや教育方針等をよく理解した上で、自らできることをできるときにできる範囲で活動することが望まれる。特に学校図書室においては、本の補修や読み聞かせを継続的に行っていくために、たくさんのボランティアの活躍が必要である。地域コーディネーター及び学校支援ボランティアがスキルアップの為に、毎月養成講座を開催し、研修会などにも積極的に参加した。継続的な養成講座の取り組みにより、基本的な知識・技術等を活かし、各学校で P T A やボランティアが定期的に修繕を行えるようになった。また、大型紙芝居についても、フレーム等の整備が必要となる為、地域住民の技術や能力が必要になる。一過性ではなく、継続的な事業やボランティア活動になるように工夫をした。

● 事業を実施しての効果・成果

地域コーディネーターが中心となり、図書ボランティアが整理・修繕をはじめ P O P を取り入れた本の紹介や、図書室を四季の変化を感じられる装飾に工夫するなど、各学校で図書室の環境整備をしている。この飾り付けを楽しみに図書室を訪れる子ども達がいる。環境を整備することで、本の落丁を見つけて報告してくる子供が出てくる等、読書の向上だけでなく、本を大切に扱う意識が芽生え、子供たちに大きな変化が出てきている。



学校支援ボランティアによる
学校図書室の環境整備



市立図書館と協働による
図書修繕養成講座

ポイント

地域コーディネーターがチームの一員となっていることを強みに、図書館と協働して展開してきた読書活動等、学校と地域の連携・協働による活動が広がっていますね。